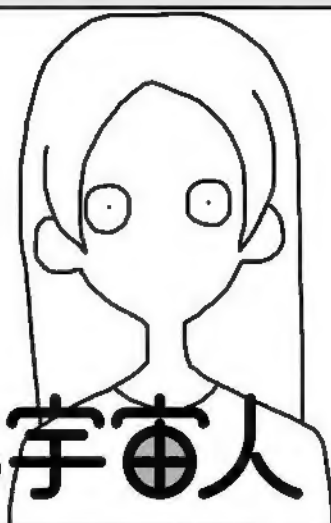
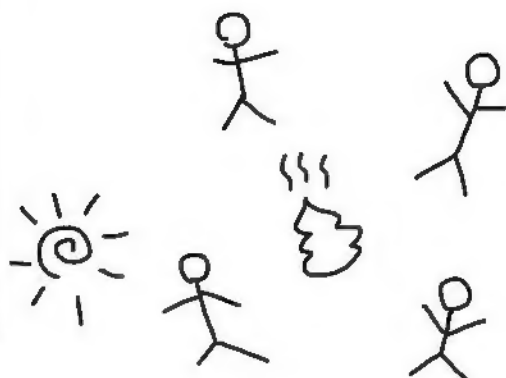
非ＳＦで非日常な妹は実在していた！特別読み切り14頁!!

巻で話題（本当に！）の『子宮の中の人たち リアルタイム妊娠まんが』の著者・EMIがお邪魔します。

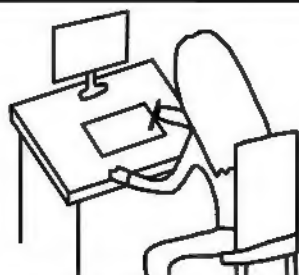
同じ子宮から宇宙人

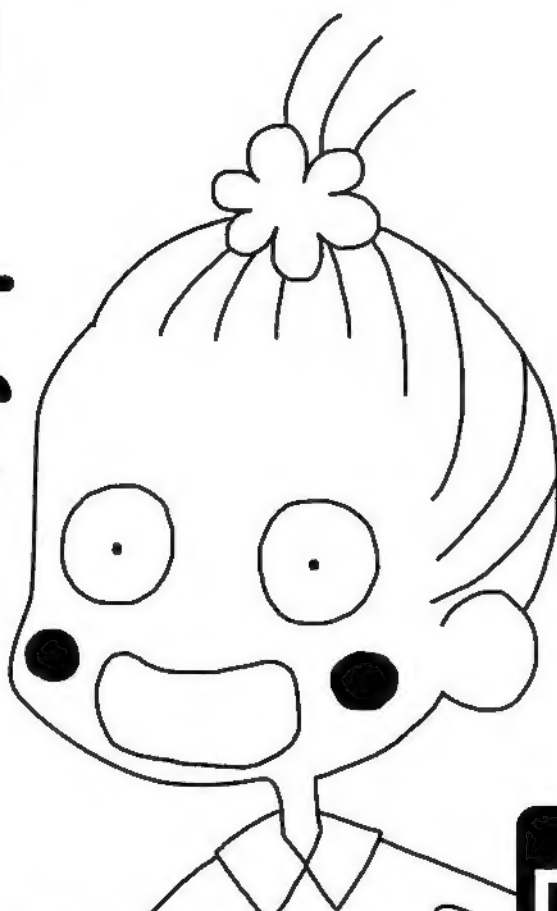
イブニングを読んでる人 こんにちは EMI（エミ）といいます

つい最近 漫画家になった ばかりのものです

漫画家といっても 雑誌に投稿したとか なんかの賞を取ったとか そういう感じではなく

ツイッターに ラクガキマンガを 描いてアップしたら それが 書籍化されたのです

この妹ちゃんが可愛くて可愛くて仕方がないのです。

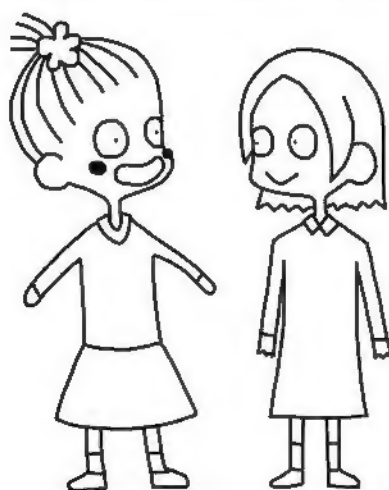
たぶん
いいらしい
ので

描いてみます

私の妹について

同じ子宮から宇宙人

The alien from the same womb

presented by EMI

私の妹は
死ぬほどバカだった
知能指数は
犬以下だった

私と妹は年子で
1歳差
なので背丈などは
ほぼいっしょ
むしろ
妹のほうが少し
背は高かった

私は魔法使いでーす
電子レンジの
「チーン」という音が
鳴る時が
分かります！
そんなの
嘘じゃー
ほんとよー

3…2…1……
ピッ
1秒
ピッ
ピッ

はい
チーン！
0秒
チーン

すごーい!!!
すごいすごいすごい
なんで分かるんじゃや!?
ビクッ

何故 彼女は
ここまで
バカなんだ
人生7年ほど
生きているが
ここまでのバカは
近所でも学校でも
見たことがない
ガタガタ
私はそんな妹を
いじって
遊びつつも
それなりに
心配していた

とある日
2人で公園で
遊んでいた

あっ
ズルッ

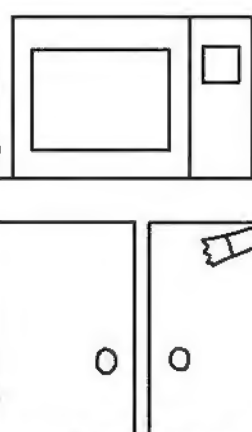
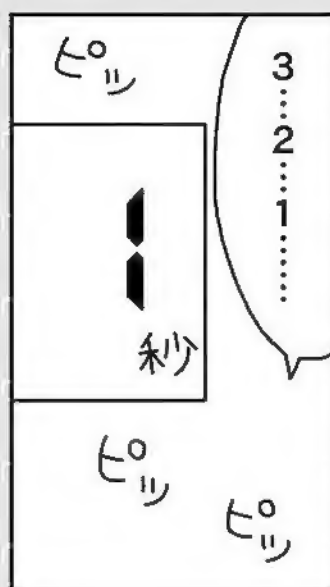
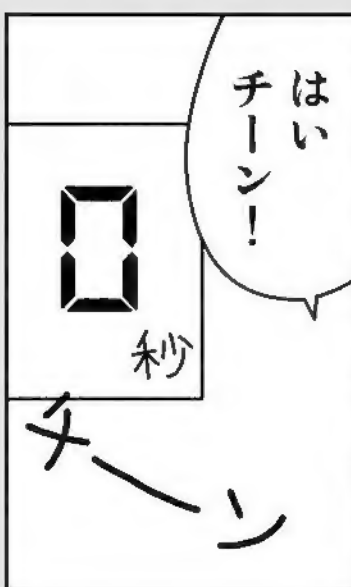
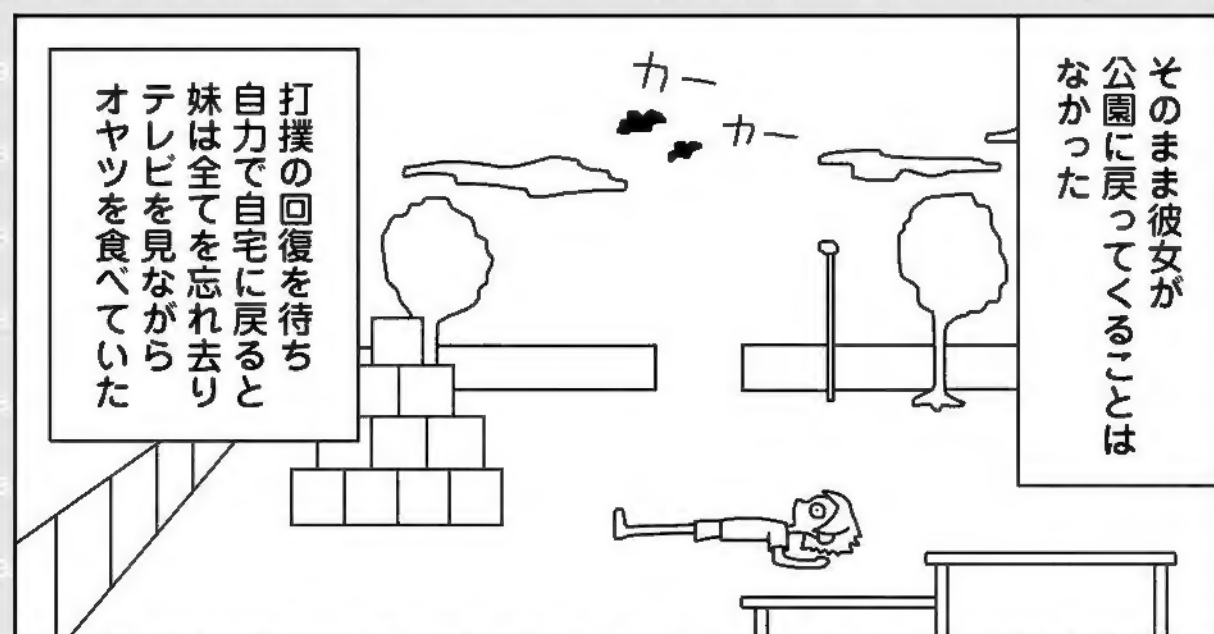
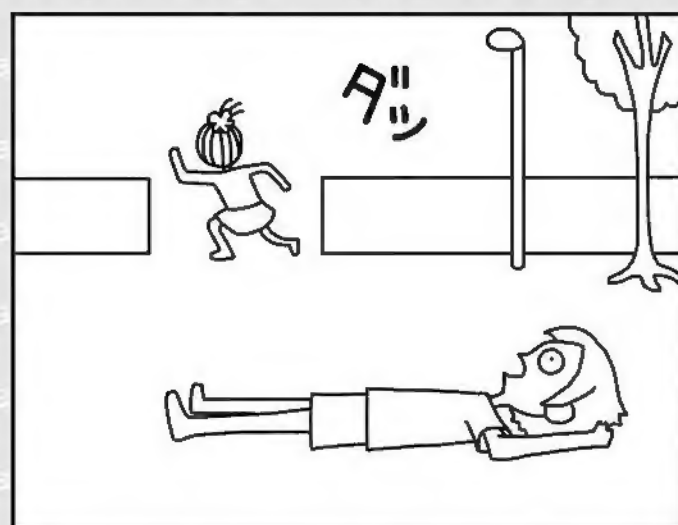
同じ子宮から宇宙人

ドッ
おねーちゃん!!!

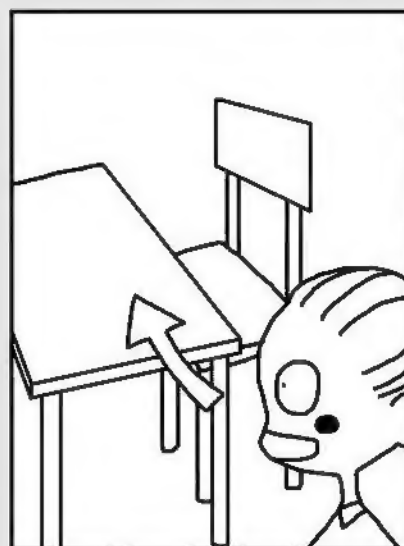
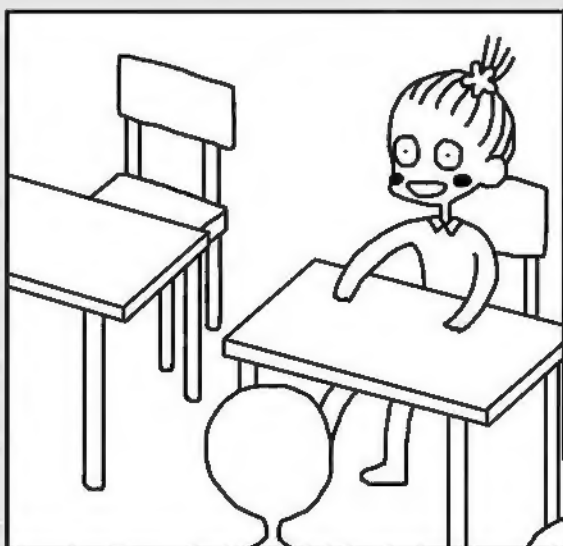
背中を強打すると
しばらく呼吸ができない
おねーちゃん!!
おねーちゃん!!!
うわあああん

い…急いで…
お母さんを…
呼んで……
くるんじゃ…
うん
わかった!!!

ダッ

そのまま彼女が
公園に戻ってくることは
なかった
カー
カー
打撲の回復を待ち
自力で自宅に戻ると
妹は全てを忘れ去り
テレビを見ながら
オヤツを食べていた

妹は食べ物に対する
執着心がすごく
食べ物は全てに
優先する存在だった

ポッカポッカ
ロバのパン
車で移動するパン屋さんを
追い回す姿が
近所で多数目撃されていた
（しかし足が遅いため
追いつけたことはなかった）
あの子また
追っかけてる

妹にとって
小学校は
給食がもらえる場所と
理解されていた

休んでいる子がいる日は
特に給食の時間が
楽しみだった
今日は○○さんが
お休みか――

余っているパンや牛乳
ほしい人いますか？
は――い

給食の食べ過ぎで
うんこが漏れそうになり
へこへこした足取りで
急いで下校する姿が
目撃されていた

子供には
子供の世界があり
人間関係などで
日々いろいろある
喧嘩もするし悩みもする

そんな中
妹の脳内は
犬のようにシンプルに
食欲だけで動いていた
いや　犬でもできそうな
おつかいも出来なかったので
たぶん犬より頭は悪かった

みーちゃんが
わるいじゃろ！

えみちゃんが
わるいんよ！

ところで
ウチの父親は
暴力癖があった
物心ついた時から
私も妹も理不尽に
殴る蹴るされていた
ガシャーン
ウワーン
幼い頃は私も妹も
ただひたすらに
泣いてばかりいたが

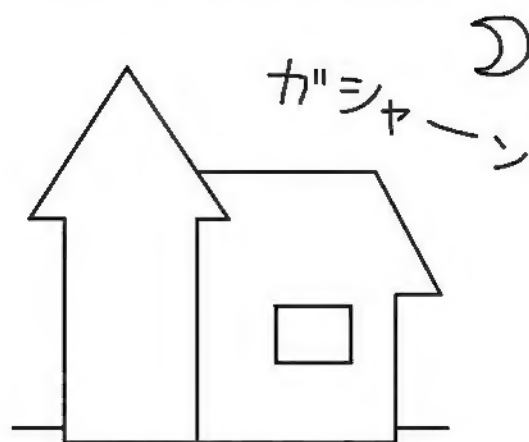
成長するにつれ
私は父に対して
反抗心を抱くようになり

ビシー
殴られても
殴り返すようになった

いっぽう妹は対極的に
スゲー冷めていった

バトルがはじまると
我関せずといった感じで
自室へ籠もるようになった
ボカ
ボカ

私が小学校4年生
妹が小学校3年生の
とある日
ガシャーン
あいかわらず家で
暴力騒ぎが
起こっていた

ズデーン
バタン
ニャ

お前ほんとに
最低やな!!!
小学生に対して
そうだ俺は
最低だ!!!

なんなら猫にも
こーしてやる
ニャ!?
猫!?

ベシ
フギャー
猫ーーー!!!!!!

その日は特別
苛烈極まっていた
やめんさい!!
お父さん!!!
母!!

ギリギリ
ああああ

お前なんしよん
手はなせや!!!
ぶっ殺すぞ!!!
ギリギリ
この時
妹がたまたま
バトル現場を
通過した

わーわーー

妹は
首しめを受けている母を
一瞥したが
すぐに去った
はなせや!!
このやろう!!
妹のこういう行動は
いつもの事だったので
誰も気にもとめなかった

もう許さん
キレた
これから股間のみを
狙って蹴る!
やってみろ
!!
ドタ
バタ

オラーーッ

このやろーっ

お前……
本当に蹴ったら
許さんぞ
本当に蹴るって
言いよるやろ！

ころす

その場の全員が
理解した

今から
殺人が
起こる

私と母は
妹を犯罪者に
させないために
全力で止めたし
まず包丁を
おろすんよ
ゆっくり
オヤジは
ねーちゃんが
将来必ず
殺すけん
今日のところは

父は
本物の殺人鬼と相対する
戦う男の顔になっていた
もうこれ家族喧嘩じゃない
来る…

ふだんバカとしか
思われていない
妹の突然の豹変は
「絶対に殺る」と
確信させるものが
あったのだ
結局
私と母で止めたが
止めなければ本当に
刺していただろう

(どんなに馬鹿でも)今が良ければすべて良し。

おしまい/EMIさんの再登場にご期待ください!